

いとうせいこう

×

奥泉光

2024. 3. 16. (SAT)

14:00(開場)14:30(開演)

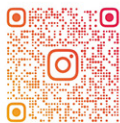
会場 | 長岡リリックホール シアター
全席指定 1,700円

文芸漫談

SEASON 6

番外公演 in 長岡

長岡近郊の方々に
出演者からメッセージ 文芸漫談とは？



夏目漱石

『虞美人草』を読んでみる

チケット販売開始日

2024年1月6日～

プレイガイド

長岡リリックホール (窓口販売のみ)

※電話予約、インターネット販売はございません

※公演日の前日までの販売となります

イープラス <http://eplus>

会場

長岡リリックホール シアター

〒940-2108 新潟県長岡市千秋3丁目1356-6 TEL 0258-29-7711 ※未就学児の入場はご遠慮下さい

主催・お問い合わせ

文芸漫談実行委員会 TEL 090-2918-6150

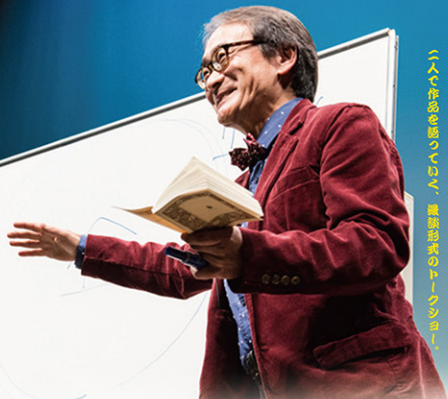
協力

舞台よろず相談所・K企画

協賛

(株) ペガ総合設備 (株) イチカラ畑

作家・クリエイターとして活躍する、ひとそれぞれが、芥川賞作家であり大学教員の、奥泉光。
 本作と結びける文学作品を題材にし、笑いを語りあふ
 二人で作品を語りあふ、漫談形式のトークショー。



出演 | itou seigo & 奥泉光

演目 | 夏目漱石 『虞美人草』
 を読んでみる

芥川賞作家と稀代の仕掛人が捨て身でおくる、漫談スタイルの超ブンガク実践講座。 小説の書き方・読み方がクスクスわかる?かも!

文芸漫談は、itou seigo と奥泉光が、小説の面白さを、笑いを取りながら伝えたいと、漫談形式で始めた文学ライブです。内容、構成はいたってシンプルで、文学作品を題材にし、笑いを盛り込み、二人で作品を語っていく、漫談形式のトークショーです。同様のトークショーのように、作品への理解を与えることにこそ違いはないのですが、そこに、博学がユーモアをまとったような二人の『笑い』が入ることにより、お客さまの興味をより深いところまで誘い、「豊かな文学」になるのでは、との試みです。

長岡出身の小説家・松岡譲と岳父・夏目漱石

長岡出身の小説家といえば「松岡譲」ですが、現在松岡の小説は一般に入手しづらくなっています。松岡は夏目漱石の娘・夏目筆子と結婚しその後も夏目家を支え、晩年には漱石山房の保存に奔走しました。自らの制作の傍ら、生涯漱石研究を続け漱石作品の鑑定をした松岡。漱石の娘と結婚したために多くの人の嫉妬を買ひ、なかなか評価されなかった不遇の松岡に敬意を捧げつつ夏目漱石の『虞美人草』を題材に取り上げます。

読んだことがある方もない方も、itou seigo さんと奥泉光さんのお話で小説の面白さに触れる機会になればと思い開催いたします。作品をお手元にお持ちいただいても楽しめます。サイン会もあるかも?! どうぞお気軽にお越しください。

文芸漫談実行委員会

itou seigo

1961年、東京生まれ。
 早稲田大学法学部卒業。作家、クリエイター。
 『ノーライフキング』で小説家としてデビュー。
 主な作品に『夢七日 夜を昼の國』『小説禁止令に賛同する』『想像ラジオ』『存在しない小説』『鼻に挟み撃ち他三編』。ノンフィクション・対談集に『国境なき医師団』『鼻に行く』『ラブという薬』『今夜、笑いの数を数えましょう』などがある。
 その他、舞台・音楽・テレビなどで活躍中。
 公式HP=<http://www.cubeinc.co.jp/ito/>

奥泉光

1956年、山形生まれ。
 国際基督教大学大学院修了。小説家・近畿大学教授。
 主な小説に『ノヴァリスの引用』『パナールな現象』『吾輩は猫である』『殺人事件』『プラトン学園』『グランド・ミステリー』『鳥類学者のファンタジア』『浪漫的な行軍の記録』『新・地底旅行』『神器-軍艦』『権限』『殺人事件』などがある。
 1993年『石の来歴』で第110回芥川賞受賞。
 2009年『神器-軍艦』『権限』『殺人事件』で第62回野間文芸賞を受賞。
 2014年『東京自叙伝』で谷崎潤一郎賞を受賞。
 公式HP=<http://www.okuzumi.com/>

チケットは

文芸漫談 イープラス



で検索!

または窓口で直接お問い合わせください